

# 東京龍門会報

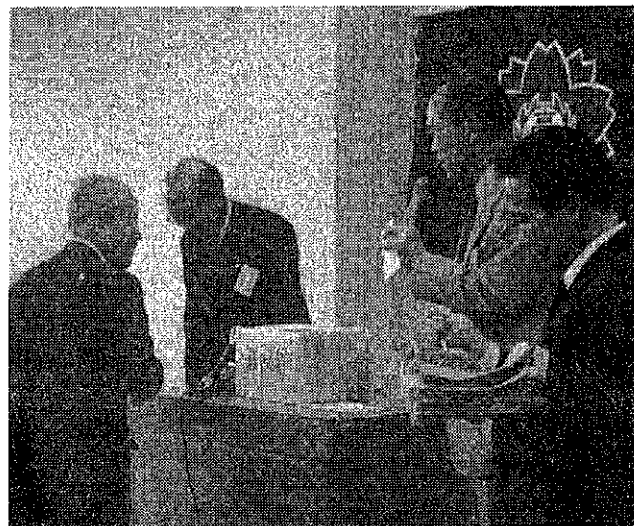
発行所  
 東京都品川区五反田2-21-20  
 株式会社 国分電機内  
 電話(445)6311  
 東京龍門会  
 発行人 国分和夫



総会の模様と  
 三角くじの当選者

## 役員改選

## 新会長に今村彬氏を選出



若  
 が  
 え  
 る

### 東京龍門会

東京龍門会の総会が去る五月十九日(土)に例年の会場である三州クラブ(品川区上大崎)で、午後一時から開催された。参加者は旧加治木中学校、高等女学校、そして高校卒業の老若男女同窓生の約一五〇名

が参加した。明治、大正生まれとは思えぬ元気はつらつとした先輩と、昭和生まれの若き後輩諸氏との和やかな親睦は、同じ学びの庭で育った同窓生の集いならではのことで、正午すぎには同窓生が続々と詰めかけ、会場のあちこちで「イヤーサツカブイナー、ドゲンナー」と握手し合い喜ぶ光景が見られた。

総会には郷里の母校から九万田哲哉学校長(今年四月から淵脇校長の後任)が、また昭和六年から七年にかけて数学を教えられたという恩師の長濱恵先生が来賓として列席された。同窓会長の新納氏は鹿兒島で天皇陛下を迎えての植樹祭と重なり今回は欠席された。参加者全員にふる里の焼酎「アサヒ焼酎」と本場の味「サツマ揚げ」それにセイトー製品の高級カップがセツトされたおみやげが贈られ大変喜ばれた。

さて、総会は国分和夫会長の挨拶に始まり九万田学校長から母校の近況報告、来賓の長濱先生からは母校における在任中の想い出、そして同窓生を代表して濱田尚友氏から西郷隆盛の哲学を理解し、現

代に生かしていつでももらいたい旨の挨拶がそれぞれ行なわれ議題に入った。

議事は五十八年度の活動報告と会計報告が酒匂昭男幹事長からなされ、続いて五十九年度の活動計画と予算の審議が行なわれたが、いずれも満場一致で承認された。その後今年の総会で主な議題となっていた会長改選の議題に入った。

### 会長改選

現在東京龍門会の会長である国分和夫氏は昭和五十三年四月に会長就任され、以来三期(六年)その座を務めてこられた。しかし今年はどうしても東京龍門会の若返りをという日頃の念願から、明治・大正という序列もさることながら、時代の要請でもある世代交代にふみきられ、後任の会長に現在副会長である今村彬氏(高・二卒)を推薦された。総会でその旨をはかられたところ参加者全員の賛同が得られ、三代目の会長に今村氏が就任することが決まった。

するならば、国分氏は同窓会としての組織化に尽力され、在京同窓生の親睦と福祉増進、さらには母校への発展寄与に貢献しながら、県下でも類をみない現在の東京龍門会に育てあげられたその功績は高く評価しなければならぬ。

一方新会長に就任された今村氏は若さと行動力で、より充実した会の発展に寄与してもらえらるものと期待されている。

### 新会長あいさつ

今村 彬(高・二回卒)



古い歴史と伝統をもつ学校であり、そして優秀な諸先輩が現在もおご活躍中の東京龍門会の会長をお引き受けするには、若輩の私にはあまりにも荷の重すぎることと思っております。しかし現会長並びに先輩諸氏の推薦を受け、今日ここに同窓生の方々のご賛同を受けましたからには、この格式高い東京龍門会の名に恥じない会長として、その

責務を果していきたいと思っております。それには会員みなさま方のご指導とご協力を是非お願い申しあげます。次第でございませぬのでよろしくお願ひ申しあげます。

### 幹事長に長谷場氏

会長の交代にともない副会長、幹事長等の改選が、総会後の幹事会で行なわれた。そして別項の通りの方々が推薦され、それぞれ幹事会で承認された。

### 会長

今村 彬(加治木町出身、昭和二五年高二期卒、前副会長)

### 副会長

村岡高昭(国分市出身、昭和十九年旧中四三期卒、前中四三期幹事)

彦野すみ子(鹿児島市出身、昭和十七年旧高女二〇回卒、副会長留任)

酒匂昭男(横川町出身、昭和二六年高三回卒、前幹事長)

幹事長

長谷場純一(加治木町出身、昭和三〇年高七回卒、前高七回幹事)

副幹事長

窪田幸男(隼人町出身、昭和三二年高九回卒、前高九回

幹事) にお各卒業期における幹事には次の方々にお願ひするようになった。ご存知のように東京龍門会はこのような幹事の方々の集りである幹事会の総意で運営されている。会員各位のご連絡ご意見は各期の幹事まで遠慮なく申し出てもらいたい。

- 園田 豊(中三期)
- 立山 清治(中三期)
- 川野 秀毅(中三七期)
- 馬場 正信(中四〇期)
- 市来 明(中四一期)
- 吉嶺 達(中四二期)
- 島田 次夫(中四三期)
- 深川 忠志(中四四期)
- 最勝寺幸男(中四四一期)
- 篠原 肇(中四五期)
- 庄村 清子(高女二二期)
- 原田 中(中四七高一期)
- 野添 俊一(高二期)
- 堀中 清美(高三期)
- 大重巳代志(高四期)
- 永井 信之(高五期)
- 後藤 徳司(高六期)
- 長谷場純一(高七期卒)
- 上原 輝彦(高八期卒)
- 窪田 幸男(高九期)
- 住吉 貢(高十期)
- 上西 康生(高十一期)
- 中山憲一郎(高十二期)

- 原田 経男(高十三期)
- 藤島 義行(高十四期)
- 桑幡 常昭(高十五期)
- 小浜 正博(高十六期)
- 高橋 光弘(高十七期)
- 福重 利夫(高十八期)
- 高野 俊明(高十九期)
- 竹田 茂隆(高二〇期)
- 小屋敷敏明(高二一期)
- 中馬 清彦(高二二期)
- 木佐木 学(高二三期)
- 上加世田策(高二四期)

会員名簿が新しくなりました。年会費納入の方には無料で送付しています。ご希望の方は事務局〇三(四四五)六三二一の西川までお問い合わせください。

名簿作成後に住所、勤務先等に変更があったり、また名簿にもれていた方々から連絡を受けましたので、訂正及び追加を掲載します。

- 堂屋敷 亮(高14) 世田谷区池尻 一六二上龍パークマンション(四五六)二七一
- 山下 宗徳(高14) 町田市玉川学園 七二二一九
- 諏訪 祥子(旧豊田)(高14) 川崎市高津区野川三〇一九一七
- 富内 順子(高14) 世田谷区松原 一四五一七

- 石福 博(高二) 横浜市鶴見区谷四〇二 塩糖社宅
- 久保 晃一(高三) 武蔵野市東町四一八―十一 小俣様方
- 上宿 義信(高十) 青梅市野上三一三―三九
- 山口 稔(高五) 焼津市西小川二二一―六サンハイツマンシヨ
- 〇二〇三号 〇五四六二(九) 〇九〇八
- 猪口 文字(旧新納)(高四) 横浜市戸塚区上倉田町八八―一四
- 戸塚ハイライズ六三五号 〇四
- 五(六八) 六六八六
- 松元 経子(高二) 電話〇四七一(四六) 一五九三に變更
- 木瀬 久幸(高三) (前)日武メンテナンス 〇四四(九三) 七四
- 二〇へ転職
- 松田経次郎(高七) 日本信販信用組合へ転職
- 斉藤 照子(高二) 墨田区両国一―二一五―一六〇四(六三五) 二二〇一
- 児玉 幸大(高二) 群馬県太田市矢田堀一〇九―二 〇二七六(三七) 三五一七
- 武知美恵子(旧武住)(高二) 狛江市泉三一―二二―二
- 柘元加代子(旧重内)(高二) 市川市二俣六七八 官舎十五―三〇四
- 池口 雅子(旧俵)(高二) 中野区若宮三一五―一四ヒラエツミ
- ツ庄内一〇一(三三〇) 六一一六
- 小澤 悦子(旧西山)(高二) 国分寺市西町五―十九―一五 〇四
- 二五(七六) 九七七二
- 鶴谷 恵子(旧批頼)(高二) 横浜市港北区南小町四五八―一十一
- 二
- 水田真知子(旧福本)(高二) 高須賀市佐野町一―三五 佐野ハイム二〇二
- 三窪まり子(旧吉蘭)(高二) 横浜市港北区大曾根二―十一―一 一三〇一
- 上田 洋子(旧川井田)(高二) 柏市若柴一―六三―三〇二号
- 新納まり子(旧川大田)(高二) 小平市鈴木町二―二二―八―二 山口マンシヨ
- 米倉 道代(旧郡山)(高二) 荒川区南千住六―四四―八 日商岩井マンシヨ二〇一―号
- 斉藤 順子(旧山下)(高二) 杉並区堀ノ内三―八―十六(三一三) 五〇〇一
- 伊地知春次(高二) 川崎市高津区野川四八〇―二 丸和油脂中原寮 〇四四(七六六) 八三三三
- 越口 勝(高二) 蕨市錦町二―一―三六 マーフ内 〇四八四 五) 〇七九八
- 中久保尚美(高二) 横浜市緑区恩田町九七七 〇四五(九八) 九九九一
- 上脇 睦美(旧赤塚)(高二) 神奈川県足柄上郡中井田中一〇
- 〇 〇四六五(八一) 二四二九
- 森 早弓(旧大久保)(高二) 座間市相武台三一四六九―二一五 一棟二〇五 〇四六一(五五) 三三九七
- 済藤 照子(旧神之下)(高二) 江東区大島六一―一五―一四三 〇(六三七) 五五三六
- 鎌田 泰代(旧岸園) 埼玉県北葛飾郡杉戸町内田二―十三―一八 四〇三 〇四八〇三(四) 二五二二
- 田上より子(高二) 横浜市磯子区磯子二―三―二六 味見荘
- 野元 朱美(旧野田)(高二) 渋谷区本町五―四七―七―一〇一(三七四) 三五二九
- 徳満なほみ(旧別府)(高二) 港区南青山一―十五―二五―一四 〇三(四〇) 一五六五
- 岩神 秀樹(高二) 練馬区東大泉一〇四七 東大泉Gハイム一〇六号(九七八) 〇六四八
- 坂元 正(高二) 中野区中野四―十一―二五―二
- 田中 純子(旧大尾)(高二) 横浜市保土ヶ谷区権太坂三―二七 一十二
- 本間真智子(旧高橋)(高二) 練馬区富士見台三―二六―一三
- 飯野コーポ二〇三(九九九) 八五四
- 宮路 弘子(旧恒吉)(高二) 横浜市港北区下田町田辺マンシヨ 二〇三 〇四四(六三) 四四九
- 加藤 良子(旧三嶋)(高二) 横浜市戸塚区元大橋一―三〇―一 二 〇四五(八九) 二〇八五
- 牧野 育馬(高二) 川崎市多摩区宿河原二九九 第一大元荘 〇四四(九二) 五四六三
- 梶山 房子(旧相生)(高二) 横浜市港北区太尾町九九一 ポーラ
- アパルトB一〇三
- 坂元さみ子(高二) 渋谷区神宮前五―八―十一(四〇〇) 八三三
- 三
- 上原三枝子(旧林)(高二) 川崎市今福七二七―十 〇四九二(四六) 六七七三
- 古江 史明(高二) 新宿区若葉二―九―三又サ文磨様方(呼) 三五五―四八八四
- 古江 昌美(高二) 世田谷区上北沢四―三三―二 第一生命寮
- 森 英季(高二) 豊島区長崎五―二〇―一五
- 山中 清(高二) 埼玉県北葛飾郡幸手町南三―八―三 〇四八〇四(三) 二七八〇
- 石神 恵子(旧野本)(高二) 横浜市港北区高田町一三四 広瀬マンシヨ三〇一 〇四五(五九二) 六〇一四
- 古川真理子(旧二本)(高二) 小平市花小金井南町三―一―〇三二 日昭南町コーポ
- 上加世田策(高二) 松戸市松戸新田五九七 IHI松戸荘二―二二 〇四七三(六八) 七四八〇
- 中村 憲史(高二) 横浜市神奈川区音藤分町四〇 東芝六角橋アパート二〇五 〇四五(四八一) 一六九五
- 浜田 幸次(高二) 町田市森野二―二五―二九 東海町田マンシヨ五二五 〇四二七(二九) 二六三九
- 福重 隆一(高二) 中野区新井二―四四―一 興銀中野寮A
- 十一(三八六) 八五四八
- 山之内義久(高二) 越谷市北越谷一―七―十四 法務省職員宿舎W二四号
- 大山 俊郎(高二) 町田市玉川学園五―十一―二 隈部方 〇四二七(三二) 九九五二
- 桑畑 純久(高二) 川越市南大塚一〇八一―四 花の木ハイム 〇四九二(四四) 六四五三
- 福留 秀憲(高二) 千葉市稲毛海岸五―一五―三 一五〇八 〇四七二(四三) 〇六四三
- 福元 和文(高二) 横浜市磯子区杉田一―十一―二 杉浜荘 十二
- 山本 正志(高二) 八千代市大和田二六九―二 〇四七四(八三) 三九〇二

会費納入にご協力を

会費の納入について早めに納入していただくよう会員各位のご協力をお願いいたします。

会員所在の情報を

住所、勤務先、電話等に移動のあった人は、また知り合いでそのような人がおられたら、各期の幹事の方へ情報を提供してください。さるようお願いいたします。

○屋内では先ずまず息災でいませうが、単独外出が難しくなりました。

(中・明四三卒 前田 稔)

○私は東北大学を出て、三菱の技師を十五年してから桐生高工教授となり、群大まで三十年間教官生活をしました。加中時代は今も懐しく思い出されます。

(中・大二卒 分田常吉)

○伊丹明君を主人公としたNHK「山河燃ゆ」で加中の名も日本国中に広まり、われらも胸を張って往時を回顧いたすと共に加治木高校の今後の発展を心より祈念します。(中・大四卒 宇都宮直賢)

○いつの間にか馬齢を重ね八十才になろうとしています。先輩諸兄が元気で活躍しておられることが何より嬉しく存じます。龍門会にはご無沙汰ばかりで今回は出席できません。長老扱いにしないで下さい。後輩諸君の発展をお祈りします。

(中・大十二卒 古江重則)

○水泳部の創設、中学に入學して二、三年の頃体育の松永ライオン先生の熱心な指導により、毎日向江新田の埋立跡地に水泳の練習に通い、県下中学校競泳大会に備えた。卒業後川内より故郷先生も赴任され龍門下に水源地も見つかり立派なプールが卒業後数年経ってから出来あがった。

(中・大十四卒 緒方雪男)

○月刊がこし誌に十年間余一七回にわたり執筆した「明治維新と薩摩人」隆盛をめぐる薩人敵味方」を五十八年十二月で完結。今年中に読み返し整理の上で単行本

にして出版したいと思っております。今のところ体調はマアーマアというところ。これからは生ある限り執筆活動は続行してサヨナラするつもりです。

(中・昭二卒 濱田尚友)

○昭和四十八年に母校の創立八十年記念行事の後援会の一環として東京龍門会は発足しました。母校九十周年を盛大に祝うためにも関東地区の皆様団結して後輩を応援いたしましょう。

(中・昭二卒 若松文保)

○健康には相当自信を持っていたのですが、昨私突然脳血栓で倒れ、目下療養中です。

(中・昭三卒 泊 正徳)

○年一回の於加治木の高廿八回のクラス会が何より楽しみです。七十の坂を越してもまだまだ現役で走り歩いています。

(女・昭五卒 永福美恵)

○毎朝食事前に竹刀で素振りをしたり、足腰が弱らないように歩くことにして、散歩やゴルフを楽しんでいます。

(中・昭七卒 立山清治)

○今年から日韓親善協会の理事に就任し、渋谷区渋谷エメラルドの青木ビルに週二回つづつ来ています。仕事は韓国にあった神社の引きあげとか文化交流、留学生などのことをしています。

(中・昭九卒 河野辰男)

○この三月中旬早川書房から「狐の足跡」という題で、ロンメル將軍の伝記上下二巻の訳書を出したのでご覧になって下さい。お

かげで元気でやっています。

(中・昭十三卒 小城 正)

○昨年八月富士電機製造を退職、目下浪人中です。勤めをやめたら釣、囲碁、麻雀、ドライブ何でも何時でも出来ると思っていたが、仲々実行できません。主婦の仕事(アレを除く)まで止むを得ずやっております。思いおこせば入学祝とやらでオセンシに率いられて北嶽に登り、田噴火口で野球、あれから丁度五十年、桜島は登山禁止。あの時の皆サーイケンシオイヤッドカイナ!

(中・昭十四卒 永野秋則)

○この度約二十五年の勤務先(茅ヶ崎郵便局)を三月末で退職しました。今までの苦勞が走馬燈のように思い浮かんで来ますが、元気で退職できて何より喜んでいきます。第二の人生に向って邁進して参ります。

(女・昭十四卒 山口澄江)

○三月亡父の一周忌で帰郷しました。西鹿児島発国分行の最終列車内で数人の若者が加高は名門などと話しているのを聞いて嬉しくもあり、母校へ立寄れないのが残念でした。目下国学院大学ともう一つの大学に講師で出校しています。

(中・昭十五卒 原田耕夫)

○昨年千葉県立高校長の仲間数名で母校を学校視察で訪問し、先輩の淵脇校長に歓迎していただきました。久しぶりの母校訪問でなつかしく感慨もひとしおでした。

(中・昭十七卒 鶴木 繁)

○一昨年山梨県都留市に転勤して

います。この四月久しぶりに帰郷し、同年の豊釜氏と卒業後はじめて会って昔をなつかしく語りあったところ。加治木の錦江から帖佐にかけて町並みが出来ておりすっかり驚きました。昭和単年生まれ、健康にいつも、やがての再会を楽しみにいたします。

(中・昭十九卒 中村 登)

○昨年帰郷して鹿児島神宮に参拝した折のこと、よく試胆会場として先輩からご指導を受けた養成道場を訪ね感無量の想いでした。

(中・昭二二卒 矢野貞徳)

○日産自動車吉原工場(富士市)に勤務のため目下沼津市に単身で居住しております。美味しい海の幸を酒肴に頑張っております。

(中・昭二三卒 鶴木恒治)

○去年は近所のスーパーで、今年も数日前デパートで「でい」を見つけた。まるで肉親に会えた様なおもいで大切に買って帰り、夕食はふる里の味の母の思い出話を添えての一夜でした。

(高・昭二五卒 山田英子)

○栄光と伝統ある我が母校より傑出した先輩の歴史が大河ドラマ「二つの祖国」に登場し、益々母校同窓会がより上る昨今大いに張りましょう。

(高・昭二六卒 米増而立)

○加高前の仮屋馬場が国道のバイパスになると、鹿児島在住の同窓生たちから嘆きの便りがありました。東京ではどうしようもありませんが、地元では何もしていないのでしょうか。



通信

(高・昭二六卒 本田 一) ○多摩市立東愛宕中学校に転勤して二年日、まわりは樹木が多く空気がおいしく感じられます。

(高・昭三一卒 堀之内亨)

○24年ぶりに連絡します。東洋大学法学部法律学科卒業後、一日一善の笹川良一氏の(社)東京都モータースポーツ競走会に勤務、現在働全日本空手道連盟師範教師七段、道場数ヶ所門弟千名を越ゆ。

(高・昭三四卒 深利勝之)

○今年組合の役員になり忙しい毎日です。健康第一で頑張っております。

(高・昭三四卒 大嵩紀昭)

○ゴールデンウィークに南紀へ旅行しました。山と川と温泉のすばらしい家族旅行でした。サンフラワー船中で学生の修学旅行の一面を見て母校のことをふと思いついたことでした。

(高・昭三六卒 高橋ミチ子)

○桜田門で毎語になつて忙しい振りをしていきます。皇居の新緑が街並の喧騒と対照的に非学に目に映えます。イッペコンメキバイモンソナー。

(高・昭四二卒 藤井豊幸)

○最愛の息子も一年生、ランドセルが重たそう……。

(高・昭四三卒 田中貴美子)